

投票は本ページの1-1, 1-2, 2-1, 2-2の4つから一つだけお選びください。

1-1



1-2



2-1



2-2



以下のページにそれぞれのロゴのコンセプトを記載
しておりますのでご参考頂けましたら幸いです。



・原案作者コメント（引用）

トルコ鞍周辺の Sagittal 像をデザインしてみました。

・原案との変更点について

色に意味を持たせるべく、原案の色を参考に青と緑の中間色を採用しました。この色は手術着の色をイメージしています。

また、全体の重心を考え、時計回りに若干の角度をつけました。そして、原案よりも前葉が目立つように周囲を切り離しました。

1-2

「指」、治療に挑む「姿」



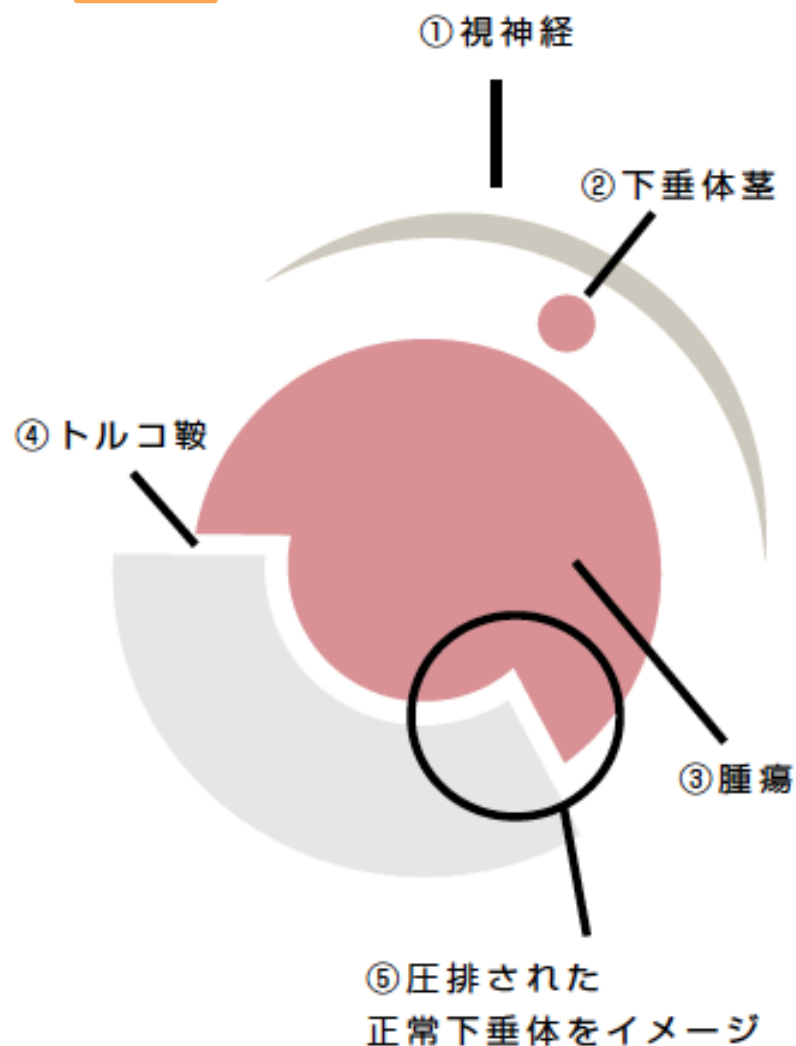
下垂体

・コンセプト

青色部分はとても微細な腫瘍に挑む先生方の「指」であり、患者さん（下垂体）を取り囲み、治療や研究に臨む「姿」を表すことで、患者さんのためにチームで間脳下垂体腫瘍の治療に挑戦する様子をイメージしています。

また、全体を俯瞰すると「鳥」の羽ばたく姿を連想することもできるようになっています。これは先生方がJHPTで知の共有を行い、そして、全国へ羽ばたいていくことで腫瘍で苦しむ患者さんに笑顔を運ぶ「幸せの鳥」のような存在であり続けて欲しいとの願いを込めました。

2-1



・原案作者コメント（引用）

イメージとしては下垂体周囲の正面像で、内部にトルコ鞍の側面像を配しました。

蝶形骨洞の面像を表わしています。色合いとしては視神経は白、全体像としては桃色で優しい感じを基調とし、下垂体腫瘍が悪性でなく良性であることを印象付けたいと考えました。

・原案との変更点について

腫瘍が良性であることの安心感を意識し、あえて原案とは逆に、腫瘍部分を桃色に配色しました。また、正常下垂体の圧排されているイメージを⑤で表しました。

原案で描かれている下垂体と全体の繋がりを大切にしながら、よりスタイリッシュな図案になるよう心がけました。

イメージとしては下垂体周囲の正面像で、内部にトルコ鞍の側面像を配しました。

2-2

ロゴマークの解説

- 1 視神経
- 2 下垂体茎
- 3 圧排された正常下垂体
- 4 腫瘍
- 5 トルコ鞍、蝶形骨洞の側面像を表わしています。

色合いとしては視神経は白、全体像としては桃色で優しい感じを基調とし、下垂体腫瘍が悪性でなく良性であることを印象付けたいと考えました。

